

平成13(2001)年1月20日 南岸低気圧による大雪

概況

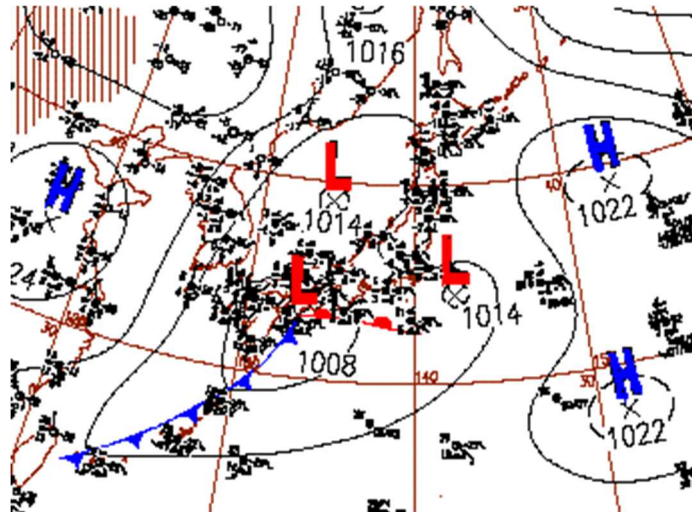
1月20日、南岸沿いを進む低気圧の接近に伴い、名古屋では11時30分から雪が降り出した。この雪は17時45分にはみぞれに、20時10分には雨に変わり、低気圧が静岡県沖へ進んだ22時10分には雨は止んだ。当日朝、県内は上空に寒気が残り、晴れて放射冷却現象が強まったため気温が下がり、県内各地の最低気温は氷点下(名古屋-1.8℃)となった。また、県内は朝の内から曇りとなり、日中は気温の上昇が殆どなかったため、低気圧接近による降り出しが雪となった。

この雪により県内は積雪となり、18時:八開17cm、21時:一宮16cm、蟹江14cmの大雪となった。また、低気圧が最接近した夜には、上空に暖かい空気が入り雨に変わった。

農業関係では、佐屋町、立田村、設楽町、津具村でビニールハウスの倒壊が9件発生し、佐屋町では「いちご、ふき」0.35haに被害がでた。また、交通関係にも障害が多く発生した。道路では東名・名神高速道路や中央自動車道の通行止め、鉄道では東海道新幹線の遅れ、JR武豊線ではポイントの故障により列車が止まるなど影響が出た。名古屋空港では欠航や遅れがでた。

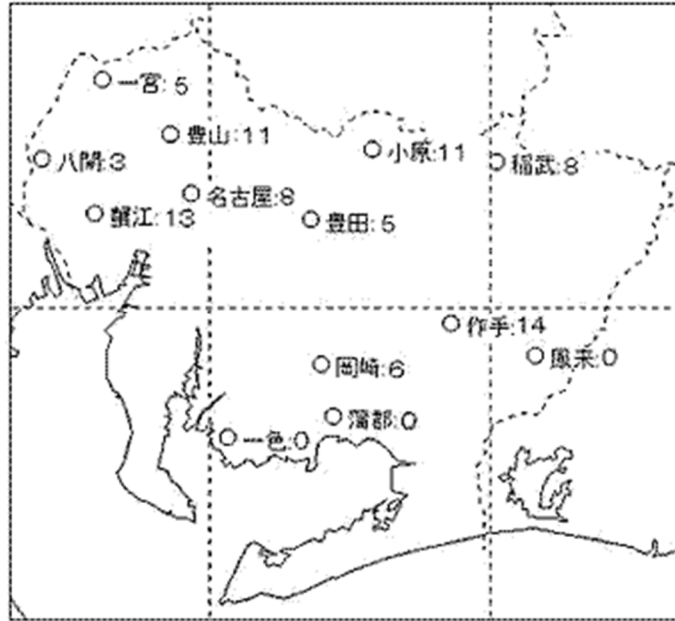
愛知県被害状況 (愛知県災害誌から)

農業被害	97か所、1,365万円
交通障害	陸上:運休、一時不通、遅延 航空:欠航、遅延



地上天気図(平成13年1月20日15時)

関東の東海上に移動性高気圧が去り、四国付近には前線を伴った低気圧が進んできた。このため、名古屋ではこの低気圧の接近により、朝の内には曇りとなり、11時30分から雪が降りだした。



降雪量分布図(平成13年1月21日09時)

降雪量が10cm以上の大雪となった地域は、三河地方の山間部と尾張地方にみられ、特に作手14cm、蟹江13cmで多くなった。

(備考)委託積雪観測所の臨時観測による積雪の深さ

20日18時:八開17cm、一宮15cm、蟹江12cm

20日21時:一宮16cm、蟹江14cm